



第2回長岡京市中小企業振興推進会議

令和5年6月1日（木）

午前10時30分から

長岡京市立産業文化会館3階第2会議室

前回の振り返り

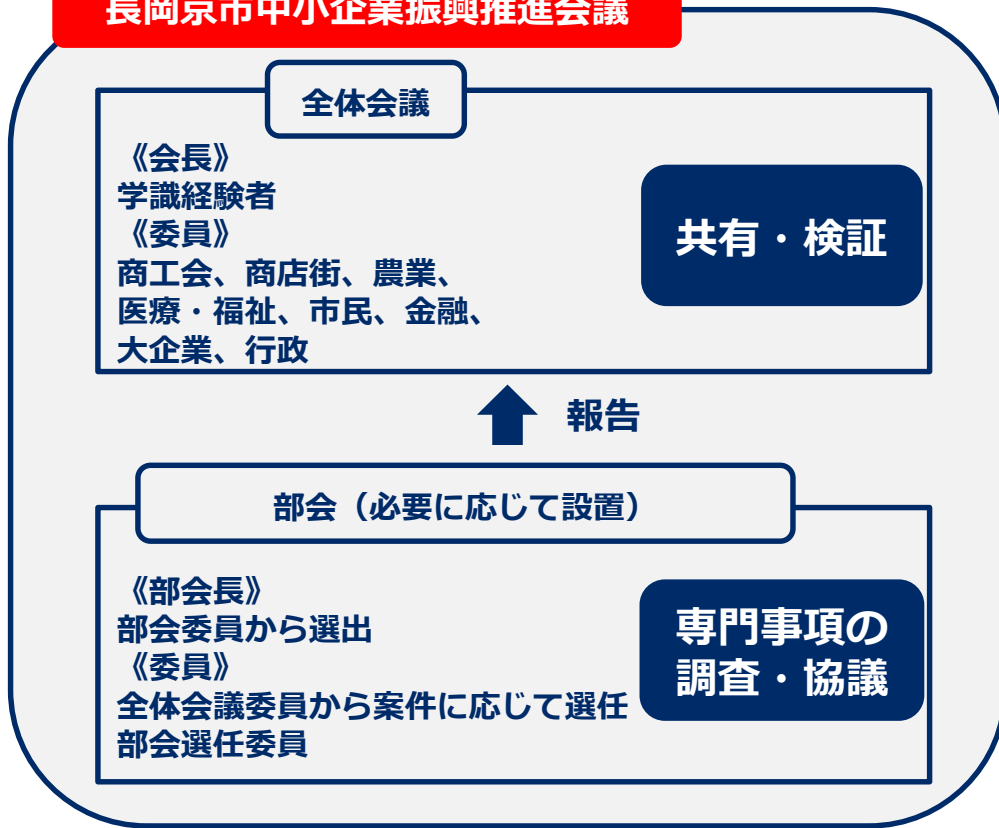
- 「長岡京市中小企業振興基本条例」を改めて確認
- 推進会議の目的・スケジュールの確認
 - 第3回推進会議～ 8月・2月開催（定例）
 - 8月： 前年度の進捗の確認・検証。
次年度に向けた振興施策のすり合わせ。
各団体の予算案への反映。
 - 2月： 当該年度の進捗状況の確認。
各団体の事業や予算などの確認。
- 各団体の取組の見える化を実施していくことを確認
- キックオフイベント、アンケート企画

中小企業振興推進会議

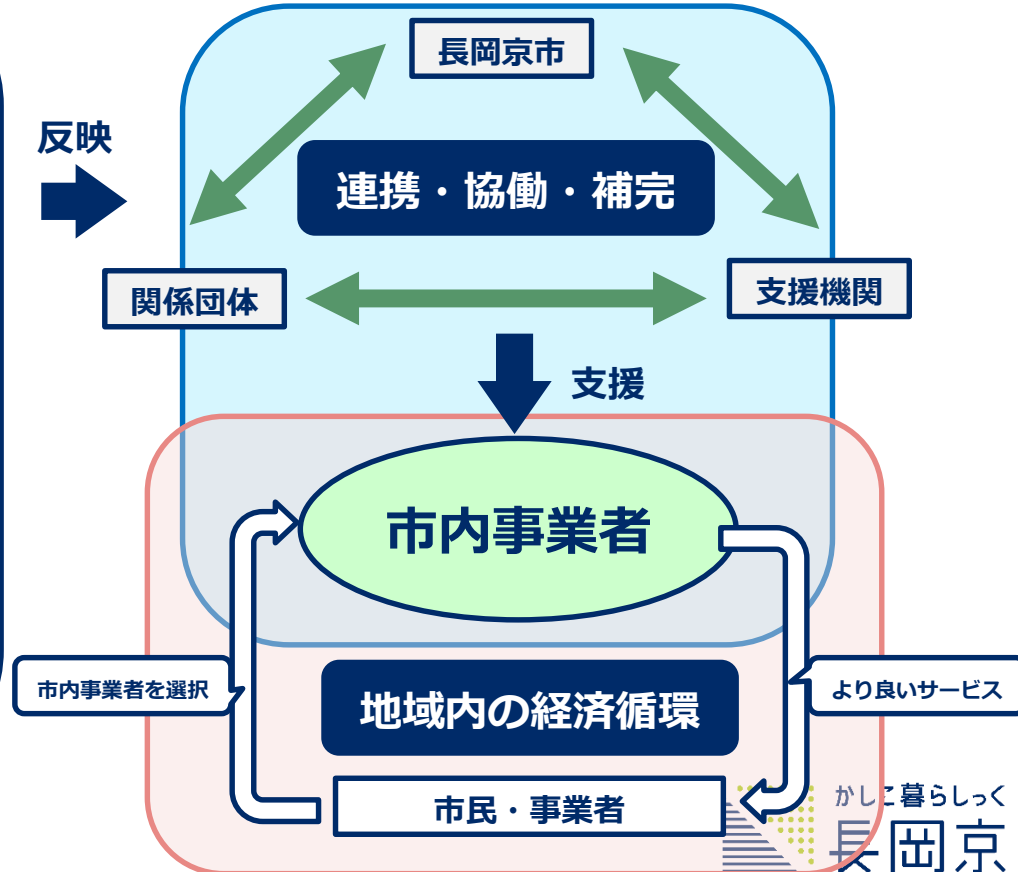
推進会議の目的

市と関係団体が、地域経済の実態や将来の展望などの現状認識と課題を共有すると共に、目標や施策の方向性、役割を共有し、関係団体が実施する施策の実施状況やその効果の検証を行い、官民が連携して効果的な施策を推進する

長岡京市中小企業振興推進会議



持続的なまちのにぎわいへ



今後の中小企業振興の基盤を つくっていくために

- 中小企業の振興につながる取組の共有
- 進捗管理の手法について
- 中小企業振興イベント

関係団体の取組を見える化

長岡京市、商工会、商店街、地産地消推進協議会（農業）、京都済生会病院（医療福祉）、京都府の取組を共有

➡ 資料①

各団体の取組の共有とあわせて

**長岡京市の特性や中小企業振興の状況
がわかる情報・データも共有**

たとえば...

地域の特徴

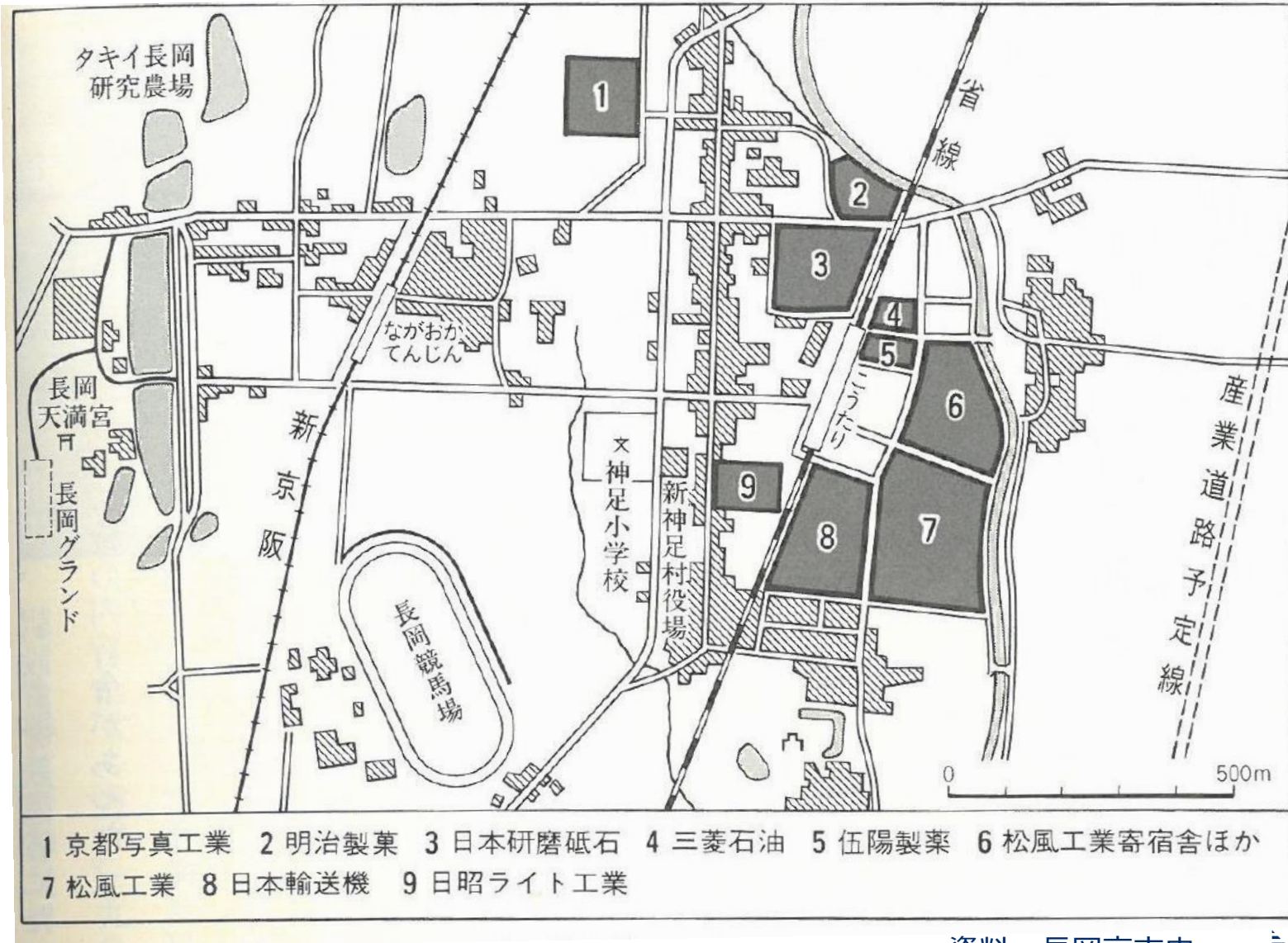
人口の推移

事業者数の推移

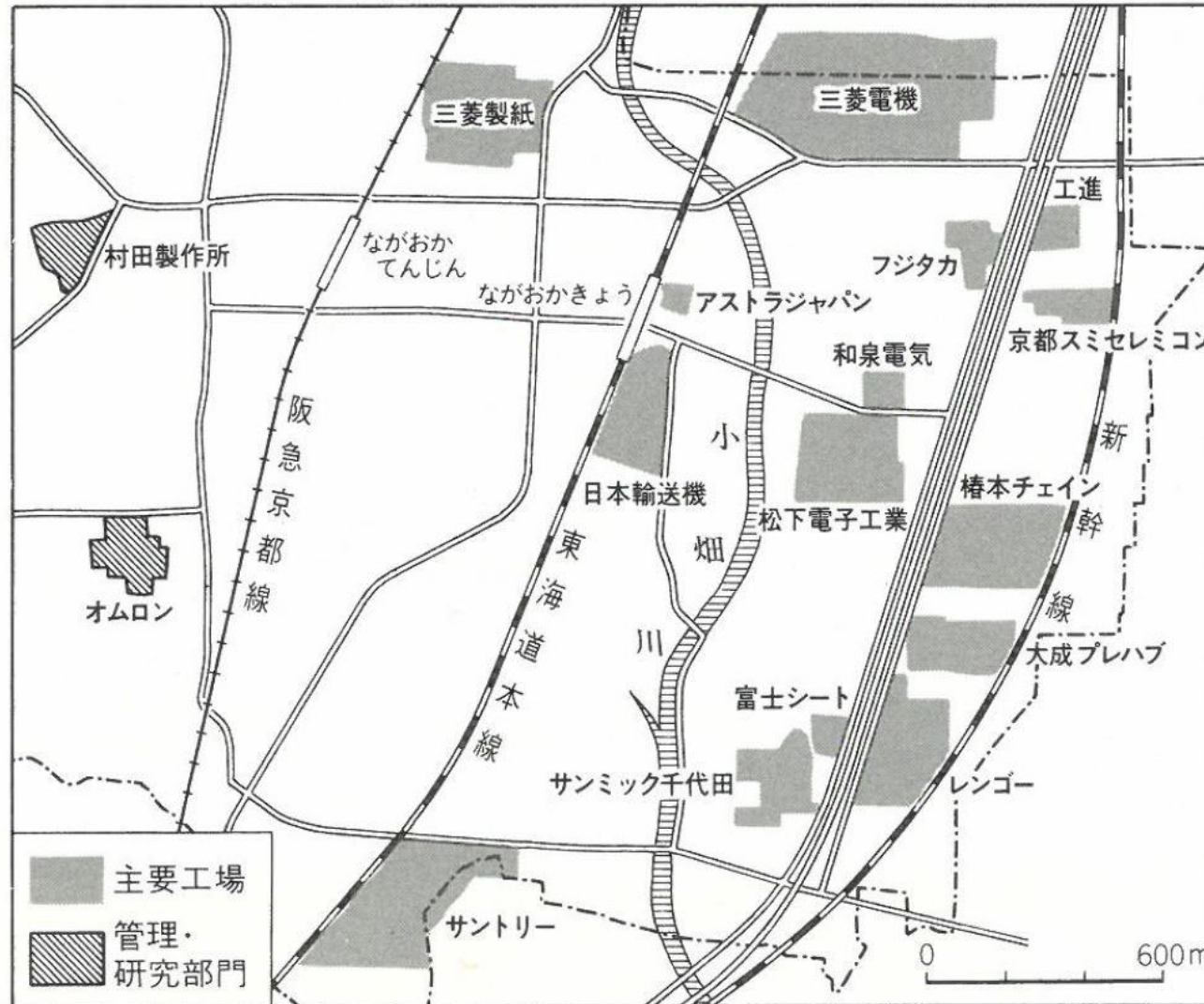
市の市内発注率

など

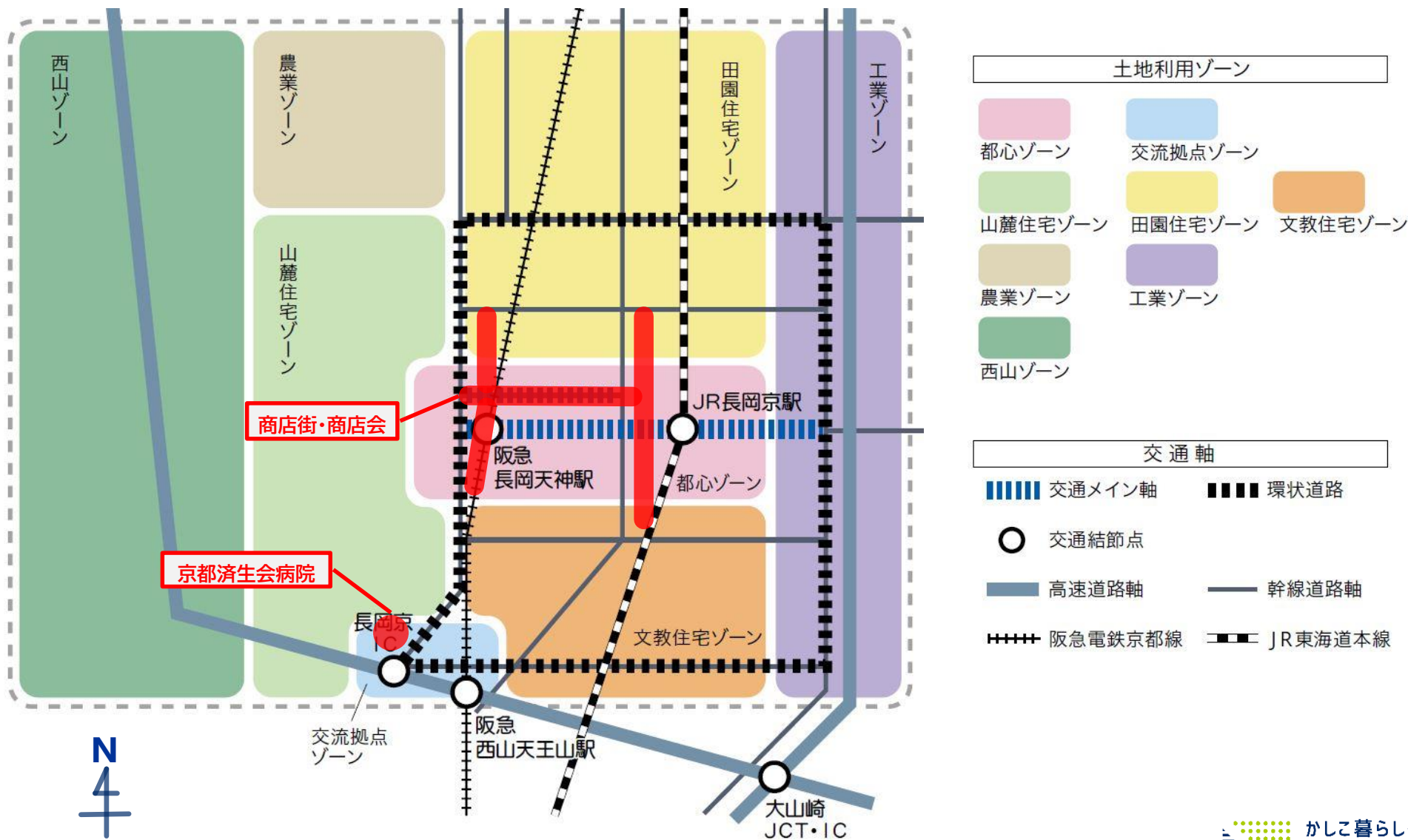
神足駅周辺の工場（1940年ごろ）



主な工場の分布（1996年）

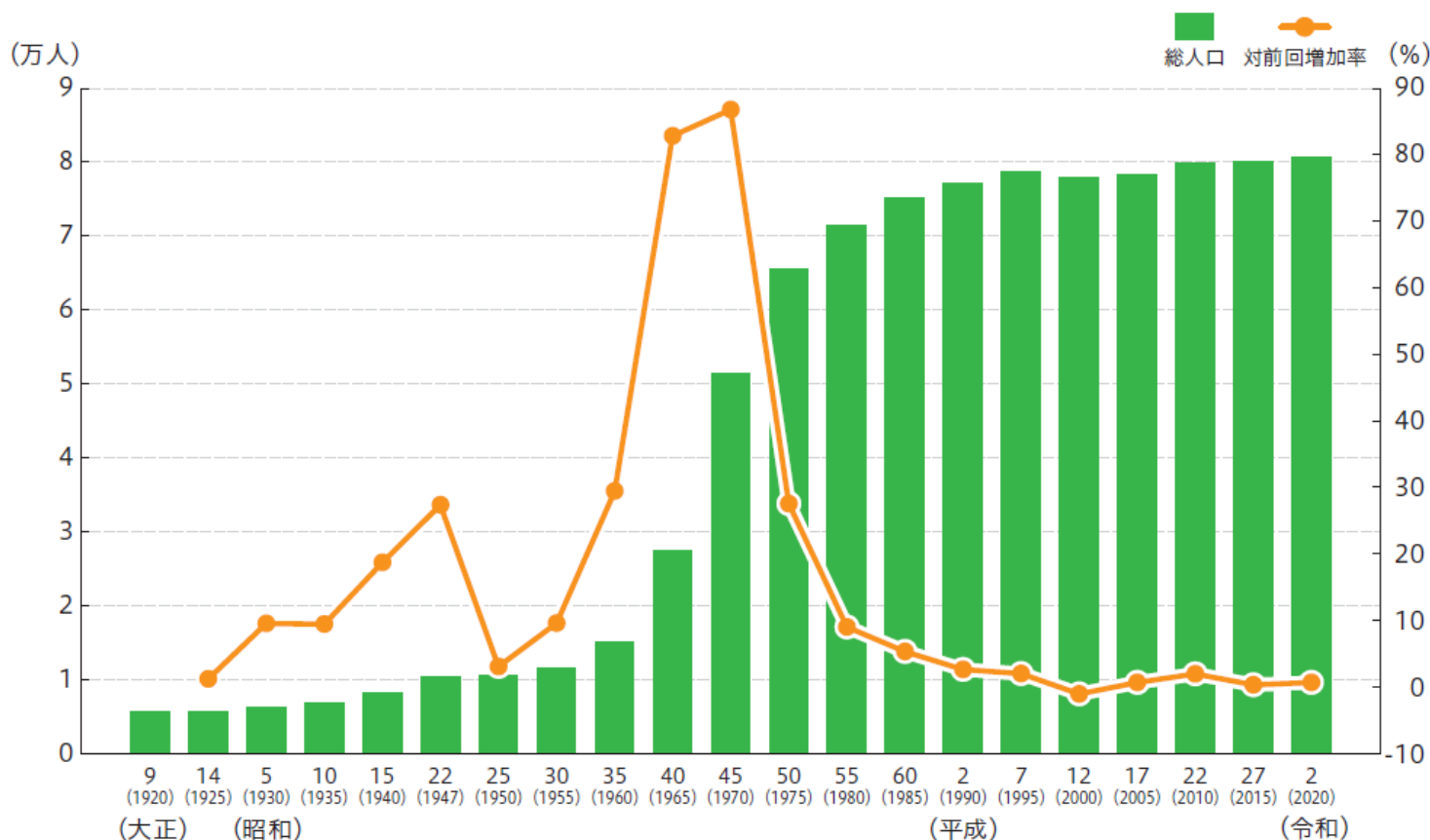


土地利用構想（市第4次総合計画）





国勢調査人口(各年10月1日現在)



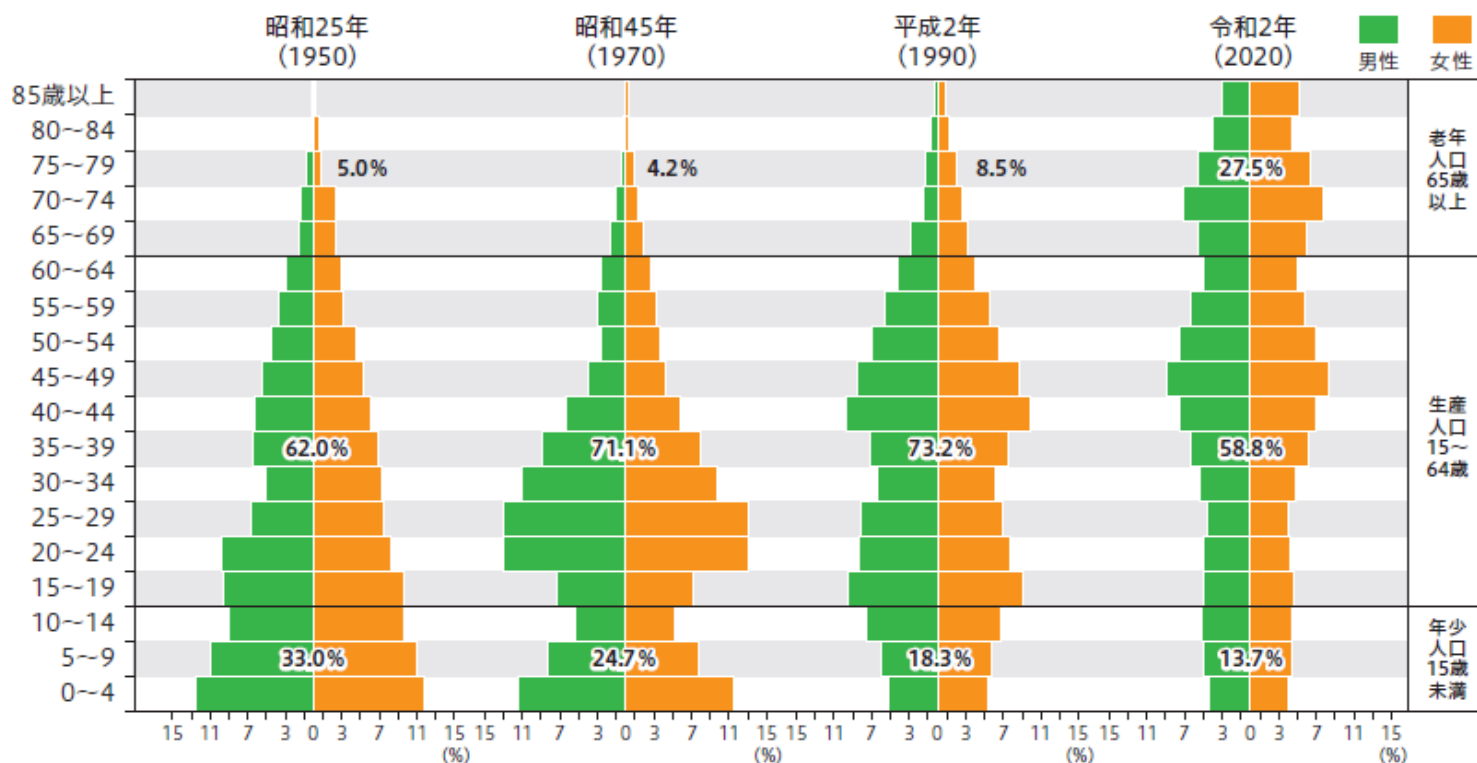
『長岡京市統計書』令和3年版による

人口ピラミッド

※「長岡京市歴史資料集成2 写真でふりかえる長岡京市」より抜粋



人口ピラミッド(国勢調査 各年10月1日現在)



注) 平成2年は「不詳」を除く。令和2年は「不詳」をあん分等によって補充した数値。

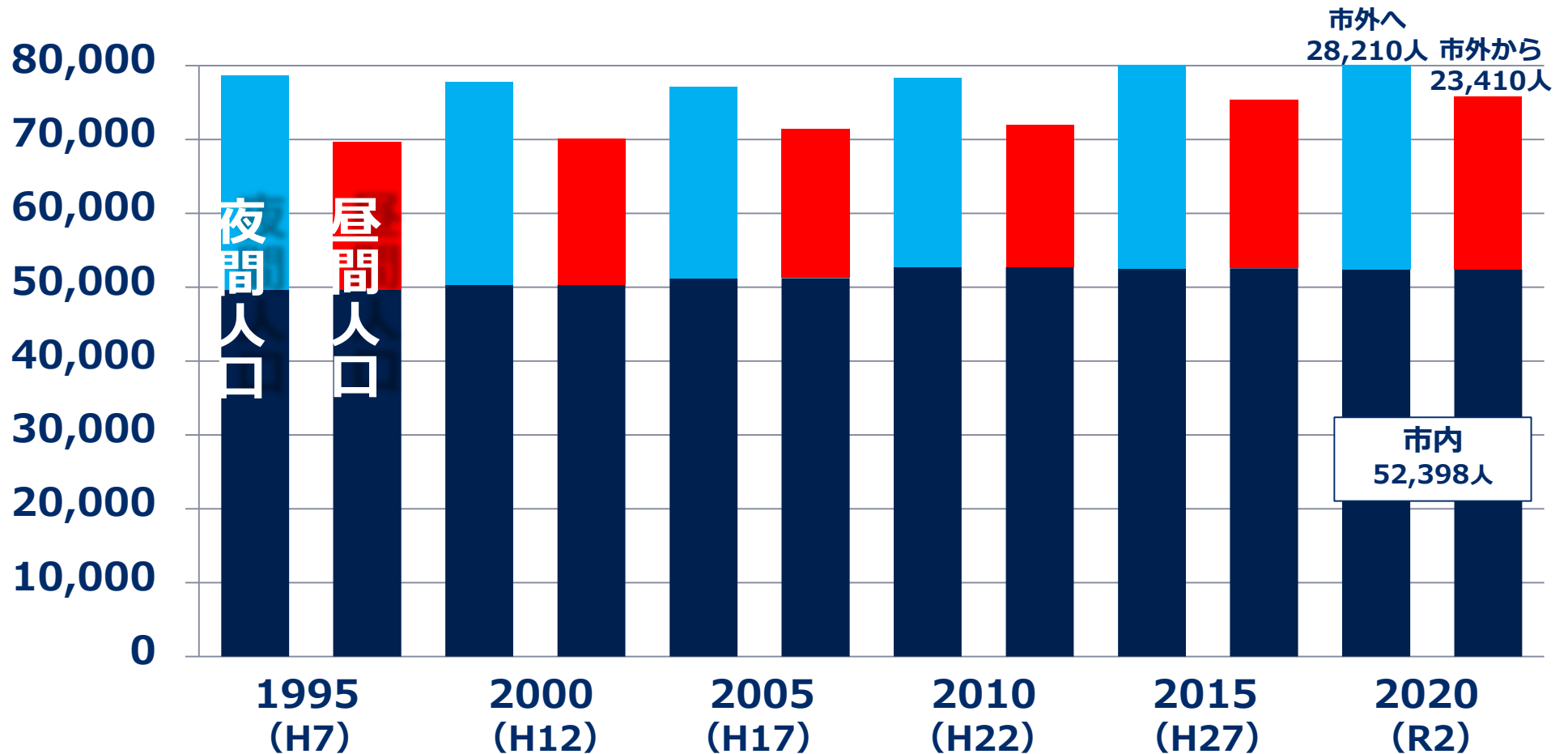
『長岡京市統計書』平成元年版・令和3年版による

夜間人口（定住）と昼間人口

* 昼間人口 = 人口 - 市外へ通勤・通学 + 市内へ通勤・通学

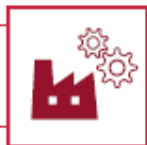
■ 市外へ通勤・通学（流出）

■ 市内へ通勤・通学（流入）

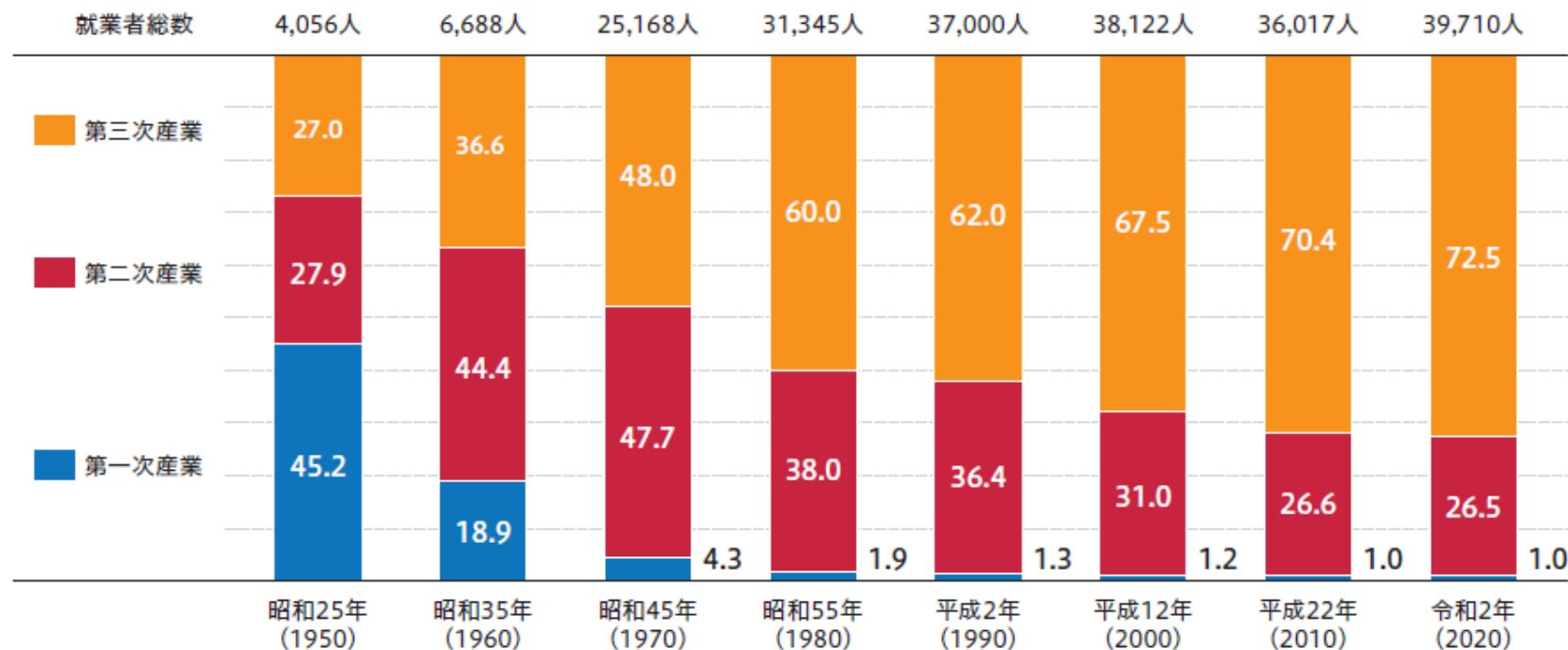


産業別就業者数の推移

※「長岡京市歴史資料集成2 写真でふりかえる長岡京市」より抜粋



産業別就業者数



注) 総数には「分類不能の産業就業者」を含む。

『長岡京市史 資料編三』統計表7、『長岡京市統計書』平成4年版・令和3年版、令和2年国勢調査(総務省統計局HP)による

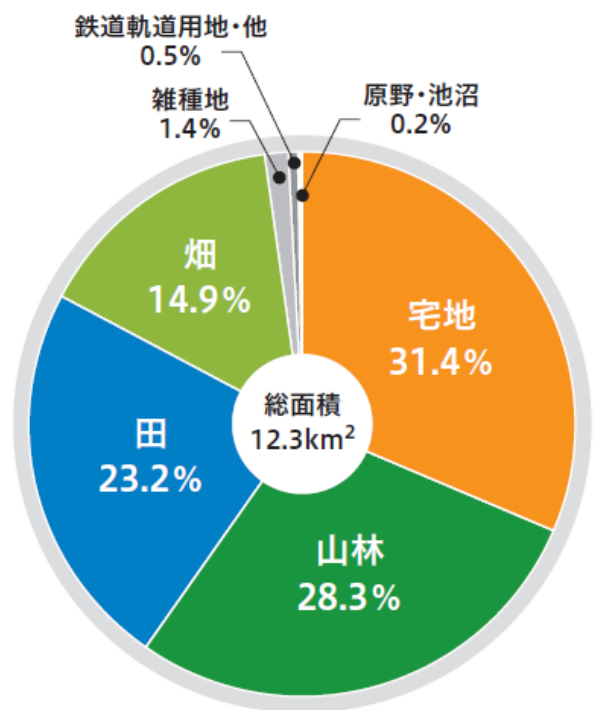
地目別土地面積の変化

※「長岡京市歴史資料集成2 写真でふりかえる長岡京市」より抜粋

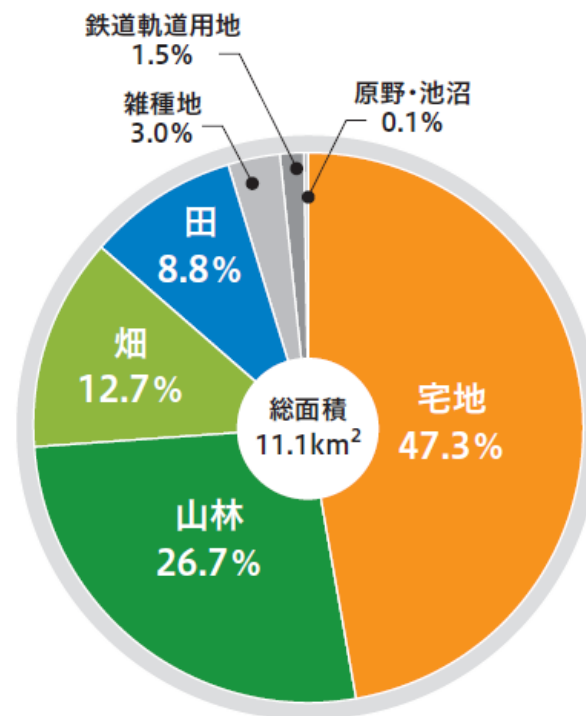


地目別土地面積

注：非課税土地を除く



昭和46年(1971)1月1日現在
『長岡町統計要覧』による



令和3年(2021)1月1日現在
『長岡京市統計書』令和3年版による

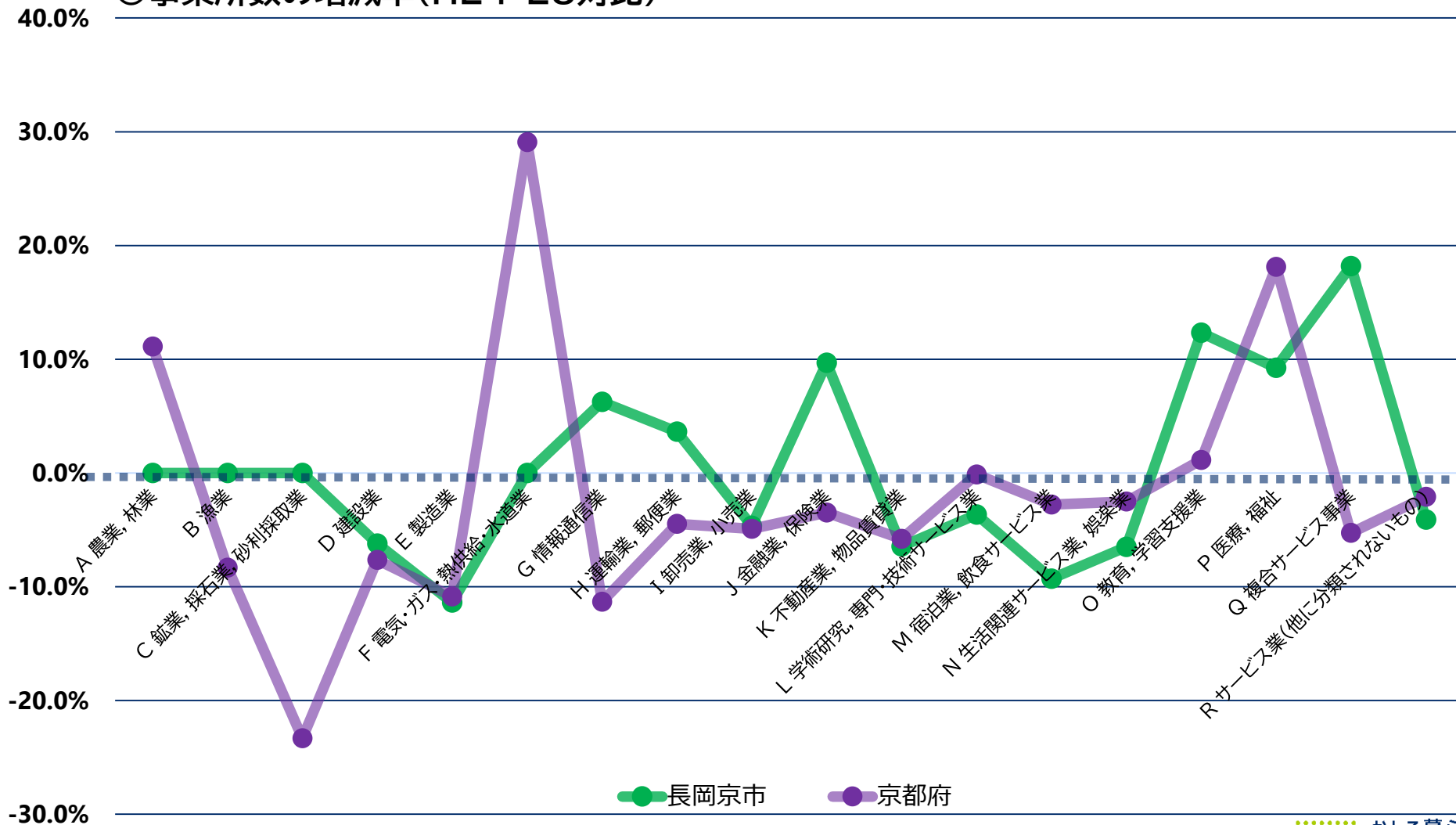
産業別事業所数の推移①

産業種別事業所数		H24	H28	増減率	産業種別事業所数		H24	H28	増減率
長岡京市	全産業	2,689	2,601	-3.3%	京都府	全産業	117,884	113,774	-3.5%
	A 農業, 林業	0	1	-		A 農業, 林業	252	280	11.1%
	B 漁業	0	0	-		B 漁業	24	22	-8.3%
	C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	0	0	-		C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	30	23	-23.3%
	D 建設業	225	211	-6.2%		D 建設業	9,232	8,525	-7.7%
	E 製造業	193	171	-11.4%		E 製造業	15,207	13,556	-10.9%
	F 電気・ガス・熱供給・水道業	2	2	0.0%		F 電気・ガス・熱供給・水道業	55	71	29.1%
	G 情報通信業	16	17	6.3%		G 情報通信業	1,086	963	-11.3%
	H 運輸業, 郵便業	55	57	3.6%		H 運輸業, 郵便業	2,209	2,110	-4.5%
	I 卸売業, 小売業	559	533	-4.7%		I 卸売業, 小売業	30,538	29,033	-4.9%
	J 金融業, 保険業	31	34	9.7%		J 金融業, 保険業	1,552	1,498	-3.5%
	K 不動産業, 物品賃貸業	294	275	-6.5%		K 不動産業, 物品賃貸業	8,584	8,087	-5.8%
	L 学術研究, 専門・技術サービス業	109	105	-3.7%		L 学術研究, 専門・技術サービス業	4,343	4,337	-0.1%
	M 宿泊業, 飲食サービス業	344	312	-9.3%		M 宿泊業, 飲食サービス業	15,634	15,200	-2.8%
	N 生活関連サービス業, 娯楽業	277	259	-6.5%		N 生活関連サービス業, 娯楽業	9,333	9,097	-2.5%
	O 教育, 学習支援業	146	164	12.3%		O 教育, 学習支援業	3,623	3,664	1.1%
	P 医療, 福祉	281	307	9.3%		P 医療, 福祉	7,399	8,740	18.1%
	Q 複合サービス事業	11	13	18.2%		Q 複合サービス事業	627	594	-5.3%
R サービス業(他に分類されないもの)	146	140	-4.1%	R サービス業(他に分類されないもの)	8,145	7,974	-2.1%		

資料：経済センサス活動課

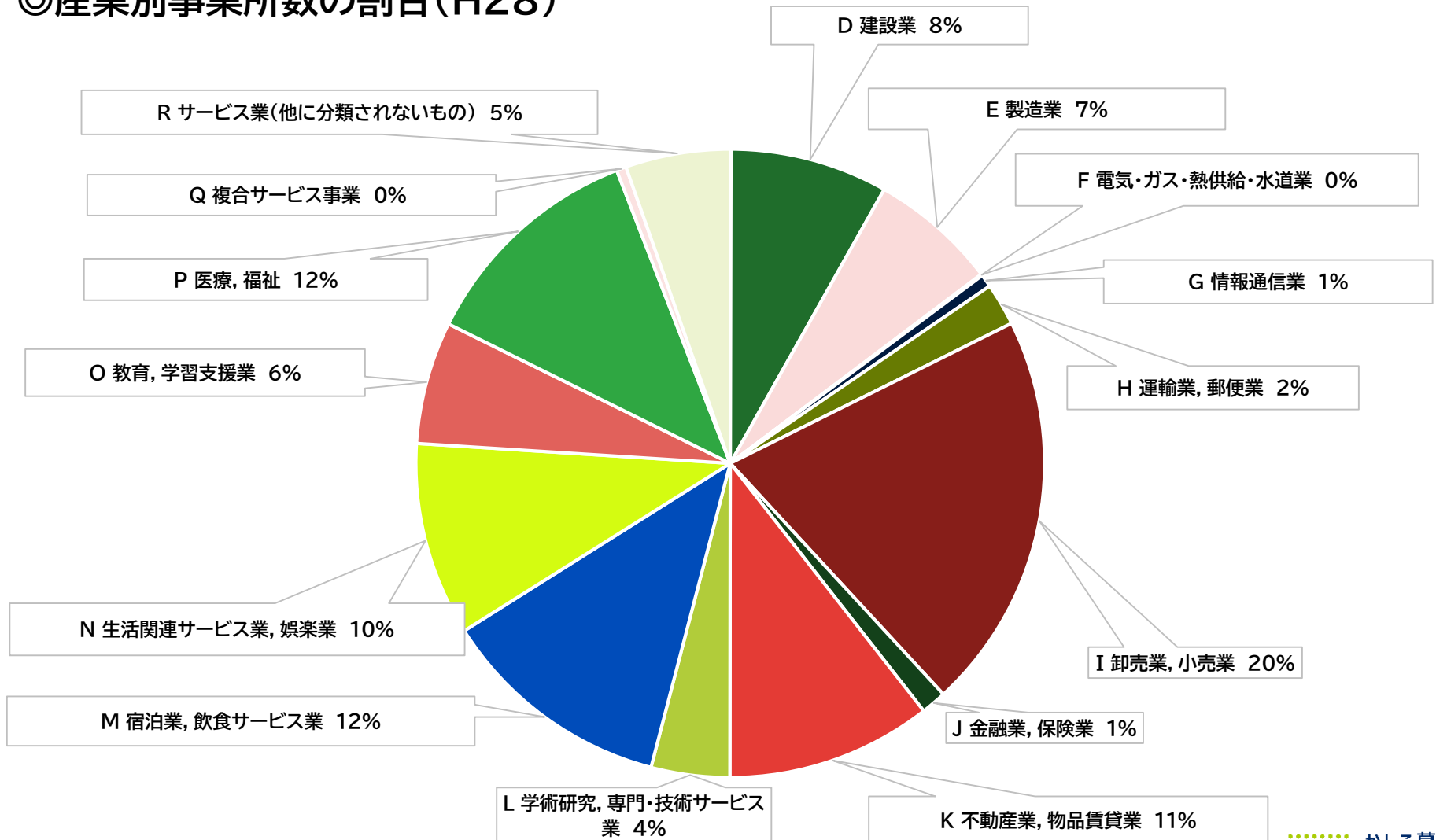
産業別事業所数の推移②

◎事業所数の増減率(H24-28対比)



産業別事業所数の割合（市、H28）

◎産業別事業所数の割合(H28)



産業別従業者数の推移①

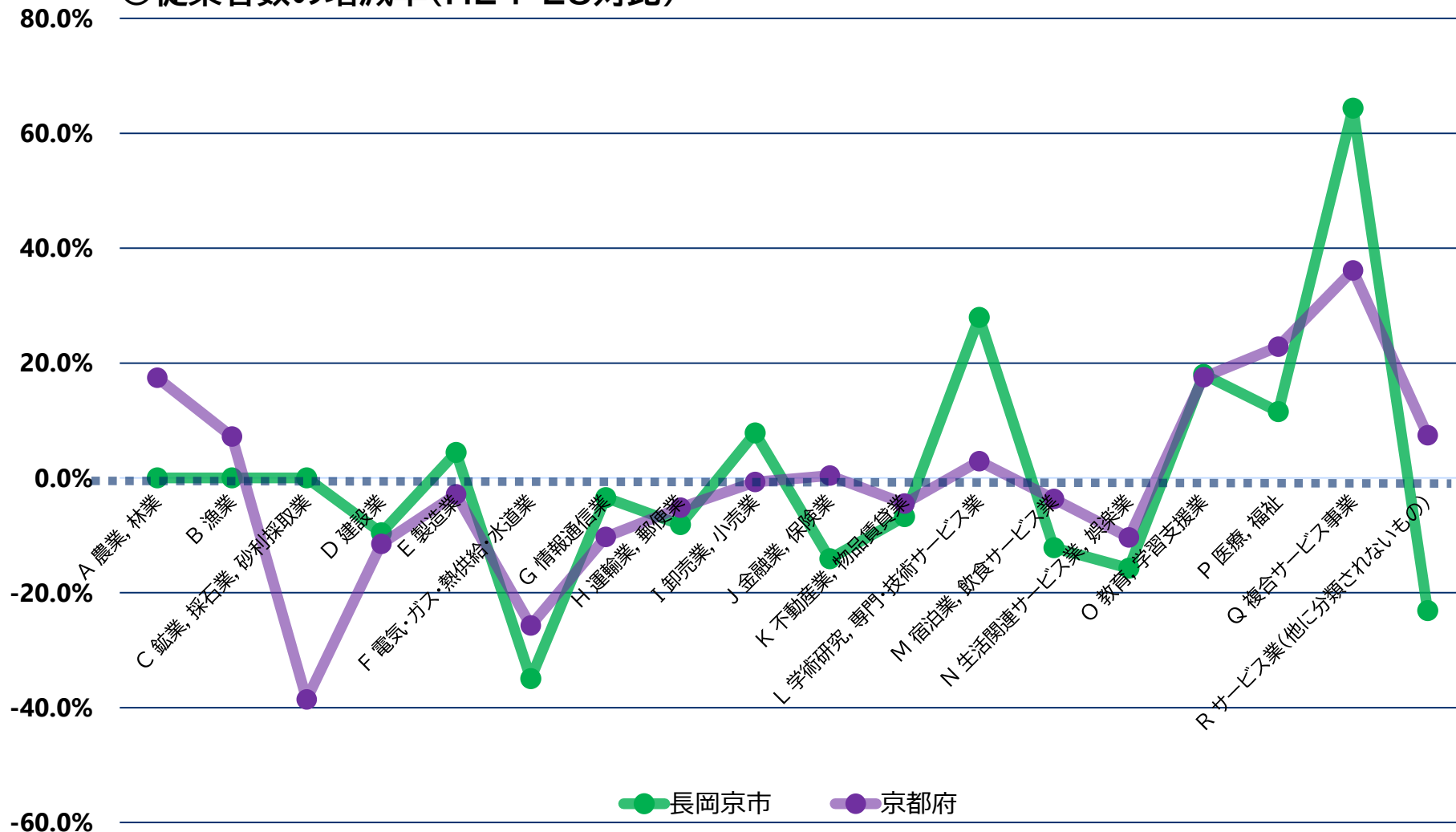
産業種別従業者数	H24	H28	増減率
全産業	29,582	30,067	1.6%
A 農業, 林業	0	4	-
B 漁業	0	0	-
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	0	0	-
D 建設業	1,168	1,056	-9.6%
E 製造業	9,001	9,397	4.4%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	103	67	-35.0%
G 情報通信業	289	279	-3.5%
H 運輸業, 郵便業	1,472	1,352	-8.2%
I 卸売業, 小売業	4,285	4,620	7.8%
J 金融業, 保険業	540	464	-14.1%
K 不動産業, 物品賃貸業	872	813	-6.8%
L 学術研究, 専門・技術サービス業	601	769	28.0%
M 宿泊業, 飲食サービス業	2,095	1,840	-12.2%
N 生活関連サービス業, 娯楽業	1,323	1,115	-15.7%
O 教育, 学習支援業	1,111	1,311	18.0%
P 医療, 福祉	5,013	5,590	11.5%
Q 複合サービス事業	87	143	64.4%
R サービス業(他に分類されないもの)	1,622	1,247	-23.1%

産業種別従業者数	H24	H28	増減率
全産業	1,118,404	1,137,370	1.7%
A 農業, 林業	3,263	3,832	17.4%
B 漁業	320	343	7.2%
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	254	156	-38.6%
D 建設業	56,958	50,409	-11.5%
E 製造業	188,279	182,901	-2.9%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	2,728	2,026	-25.7%
G 情報通信業	16,251	14,576	-10.3%
H 運輸業, 郵便業	58,446	55,419	-5.2%
I 卸売業, 小売業	249,075	247,308	-0.7%
J 金融業, 保険業	26,551	26,653	0.4%
K 不動産業, 物品賃貸業	31,751	30,328	-4.5%
L 学術研究, 専門・技術サービス業	28,948	29,788	2.9%
M 宿泊業, 飲食サービス業	130,423	125,617	-3.7%
N 生活関連サービス業, 娯楽業	51,397	46,064	-10.4%
O 教育, 学習支援業	56,381	66,259	17.5%
P 医療, 福祉	132,826	163,193	22.9%
Q 複合サービス事業	6,133	8,349	36.1%
R サービス業(他に分類されないもの)	78,324	84,149	7.4%

資料：経済センサス活動調査

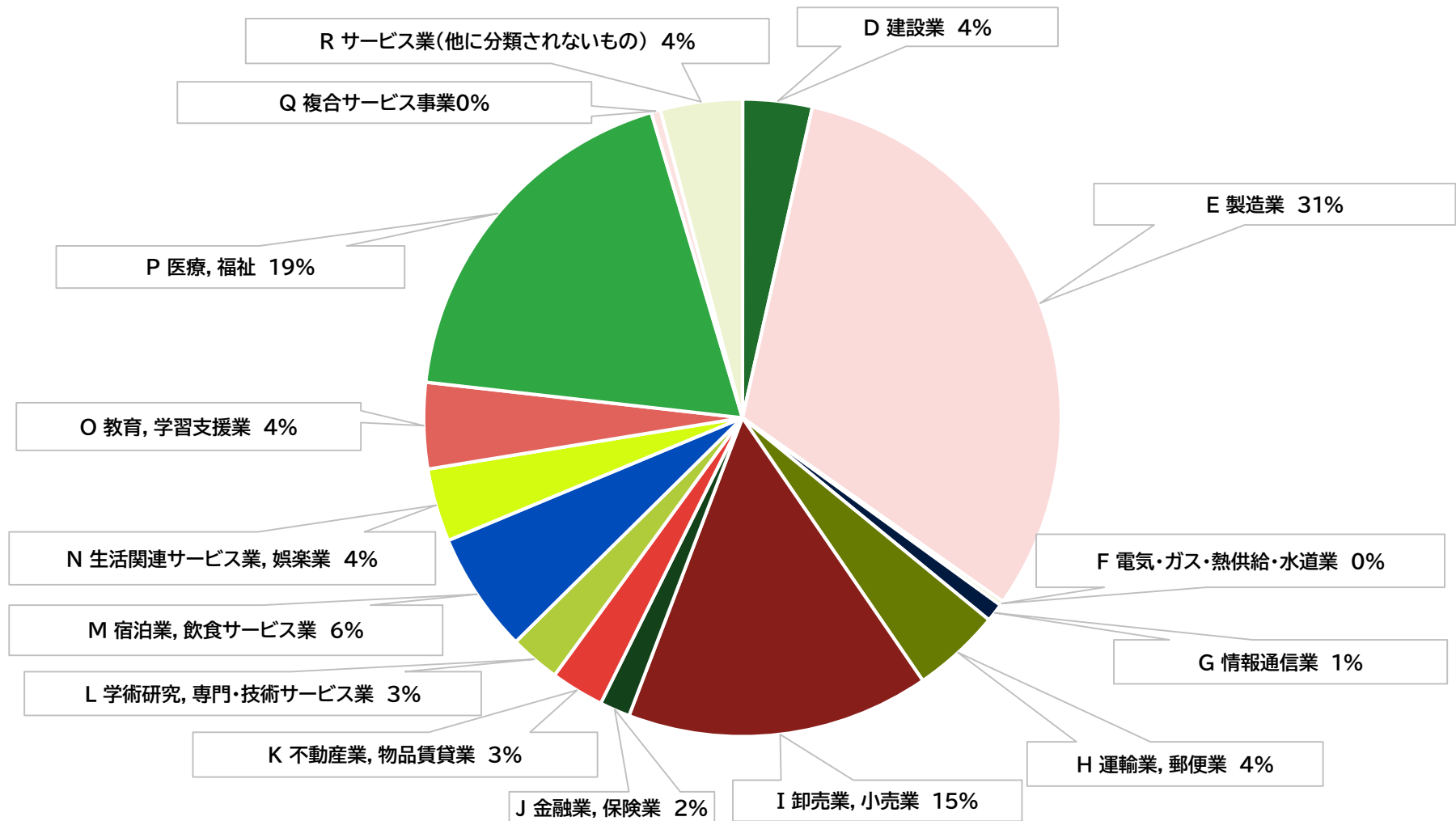
産業別従業者数の推移②

◎従業者数の増減率(H24-28対比)



産業別従業者数の割合（市、H28）

◎産業別従業者数の割合(H28)

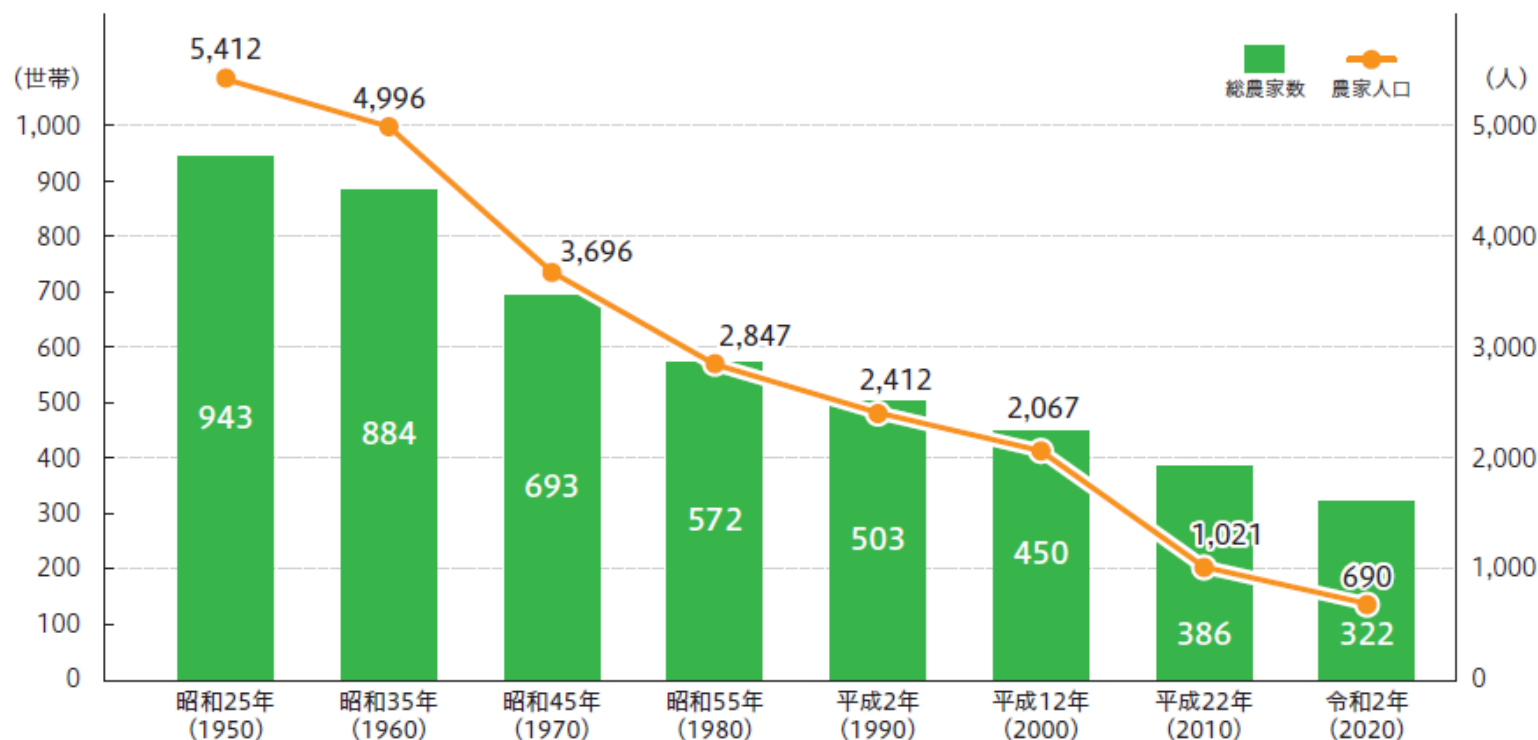


農家数および農家人口の推移

※「長岡京市歴史資料集成2 写真でふりかえる長岡京市」より抜粋



農家数および農家人口



注) 平成22年の農家人口の数値は販売農家のみ
令和2年の農家人口の数値は農業経営体のうち個人経営体のみ

『長岡京市史 資料編三』統計表14・19、『長岡京市統計書』平成4年版・令和3年版による

農業の推移

区分 \ 年次	平成12	平成17	平成22	平成27	令和2
総農家数(戸)	450	415	386	361	322
農家人口(人)	2,067	1,195	1,021	881	690
販売農家数(戸)	321	257	240	215	186
自給的農家数(戸)	129	158	146	146	136
経営耕地面積(a)	25,851	22,513	21,148	19,661	17,793

注)各年2月1日現在

資料:農林業センサス

農家人口は、平成27年までは販売農家の総世帯員数、令和2年は農業経営体のうち個人経営体の総世帯員数である。

医療施設及び医療従事者数

区分 年次	医療施設数					医療従事者数(人)		
	総数	病院		診療所	歯科診療所	総数	医師	歯科医師
		施設	病床					
平成29	122	6	1,334	77	39
平成30	123	6	1,334	76	41	241	183	58
令和元	122	6	1,284	75	41
令和2	120	6	1,284	73	41	237	183	54
令和3	119	6	1,284	72	41

注) 医療施設数は、医療施設調査(各年10月1日現在)による。

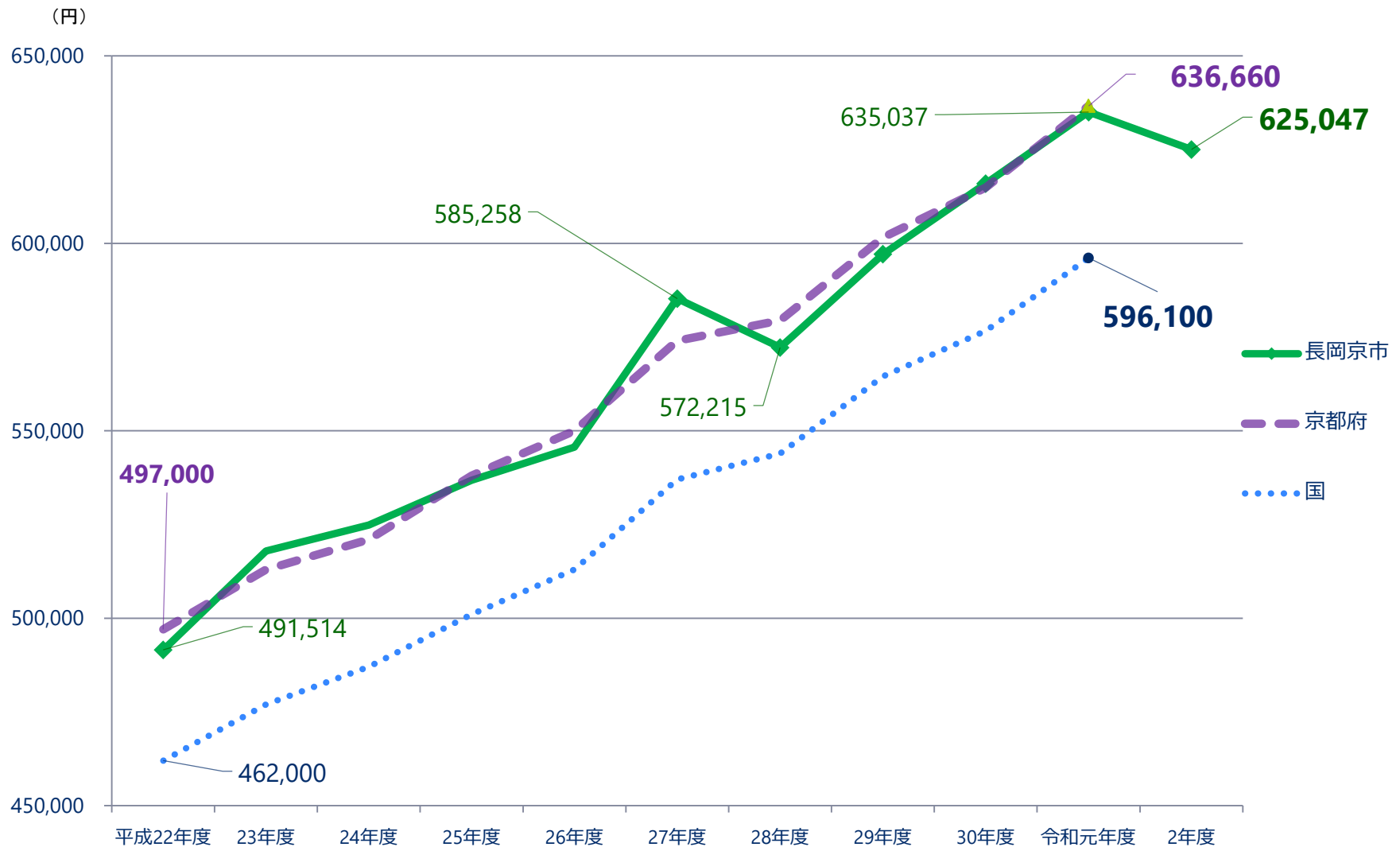
資料: 医療施設調査

ただし、保健所は医療施設調査の対象外のため除く。

医師・歯科医師・薬剤師統計

医療施設従事者数は、医師・歯科医師・薬剤師統計(隔年12月末現在)による。

一人当たりの医療費の状況（国保+後期高齢）



【出典】 令和3年度主要施策の成果等説明書(評価指標)

“見える化”することで...

長岡京市の特性も踏まえながら、
現状、強み・弱みを明らかにしていく



これから推進会議が

- 中小企業振興をどのように進めるか
- 何の課題に対して取り組んでいくか
- どのように強みを伸ばしていくか

取り組む課題や目標が見えてくる

今後どのような情報やデータをどのように見える化していけば、**実態把握・課題発見**につながるか

- 肉付け・深堀していく情報
- 情報のまとめ方
- 数字・データ

進捗管理の手法について

中小企業振興を推進していくにあたって、どのように進捗管理していくか



評価指標を設定して、中長期的に動きを見ていくのはどうか

その場合、何を評価指標とするか

中小企業振興イベント

- 中小企業振興基本条例の趣旨を事業所、市民に知ってもらおう段階
- 知るきっかけとなるイベントを開催
- 2月にキックオフイベントとアンケート企画を実施

みんながつながる交流会

- 開催日時 令和5年2月11日（土）
- 開催場所 産業文化会館1階 大会議室
- 主催：長岡京市 共催：長岡京市商工会
- 会場参加者：74名、つながりシート参加者：17名 発表者：3組（4名）、金融機関：3行庫7名

第1部 新規事業や創業など新しい取り組みの事例発表

1. 株式会社BOOTH 代表取締役 辻 翔大さん
2. 株式会社能見工務店 代表取締役 能見 太郎さん
3. 株式会社WANTKEY Lab. 代表取締役社長 興梠 祥子さん・泰輔さん

第2部 参加者のつながりをつくる交流タイム

みんながつながる交流会



みんながつながる交流会



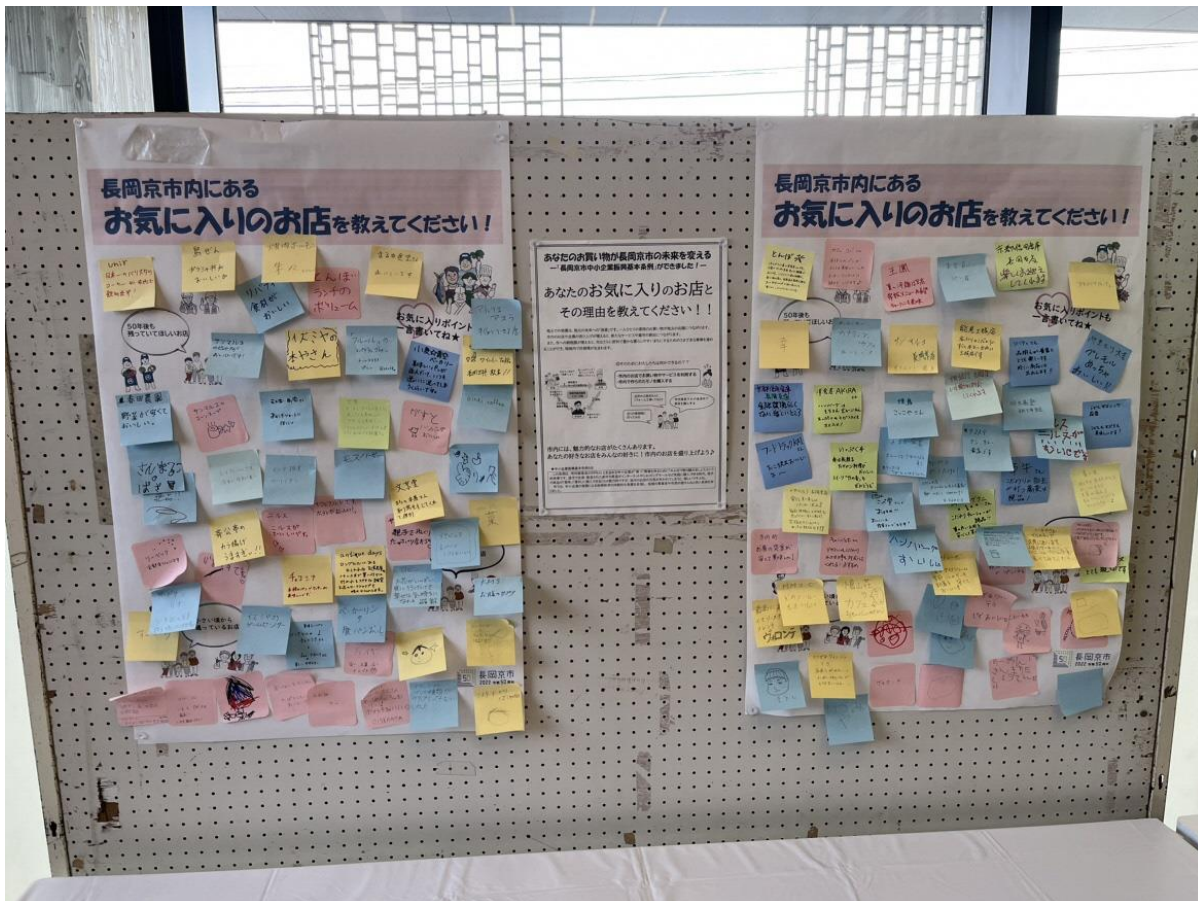
みんながつながる交流会



お気に入りのお店 アンケート

- 「あなたの好きなお店をみんなの好きなお店に！」をキャッチコピーに、市民のお気に入りのお店を教えてくださいアンケート企画を実施
- アンケートは、市公式LINEや市内各所（市役所・駅・金融機関など）で実施

お気に入りのお店 アンケート



中小企業振興基本条例キックオフアンケート

長岡京市内のお店を応援！
お気に入りのお店
教えてください



市内には魅力的なお店がたくさんありますが、
まだまだ知られていないお店も！
今後、さまざまな企画を開催する上で参考にさせていただきます。

回答する

お気に入りのお店 アンケート

- 回答数 1,388件
- アンケート結果を市の広報紙で活用

長岡京市の魅力的な人物や商品、出来事などを市民ライターが取材し、市民ならではの目線で伝える「長岡京のきらり☆」



次回の中小企業振興イベント

- 秋頃 開催予定
- 事業所・市民に条例の趣旨を知ってもらうことが目的
- 中小企業PR大会？ビジネスコンテスト？まちゼミ？スタンプラリー？

よいアイデアはないでしょうか？

次回の推進会議

- 開催時期 8月
- 議題（予定） 見える化は継続、拡張していく
 - 前年度の取組の成果と課題
 - 新規事業・重点事業の共有
 - 次年度の展開（予算への反映）
 - 秋のイベントについて
- 事務局より改めて照会をかけるので、ご協力をお願いします